

くらしを支え、未来を考える県営水道は、みんなの財産です

■水づくりには、多くのお金がかかります

水道は、電気やガスなどと同じ装置事業です。ダムや浄水場、管路などの施設をつくったことによる減価償却費や、それらの施設などをつくるために借ったお金の支払利息などを資本費といいますが、その資本費は水をつくる費用の約6割を占めているのです。

また、施設の建設費は年々上昇しているのです、これからも水づくりには多くのお金がかかります。

■限りある貴重な水です、ムダのない使い方を考えましょう

現在、県営水道では1m³の水をつくるのにおよそ59円(平成24年度)というお金がかかっています。そして、これから新しく作る水では、資本費がさらにかさんでいきますので、その分だけでも原価は確実に高いものとなります。「水は限りある貴重な公共財産」です。

私たちひとりひとりが、いま一度みんなの財産としての水道のしくみを理解し、ムダのない水の使い方を考えてみましょう。

料金収入・費用・給水量の推移

